

～難病を相棒に就労を考える～

炎症性腸疾患(IBD)と付き合いながら働く

令和3年11月7日(日)13:30~16:00

潰瘍性大腸炎・クローン病といった炎症性腸疾患は、比較的若い世代で発症し、難病の中でも数の多い疾患で、就労の相談も多くあります。症状に個人差があるので、中には病気を公表せず一般就労されている方も多いかと思われます。就労途中で診断された方、これから就活始める方が、どんな心構えてどんな働き方を目指していけば、無理なく病気を相棒にして働き続けることができるのか…。そんな方々の参考になればと企画しました。

オンライン開催
サテライト会場あり*8

参加は無料
事前申込み必要
(詳細は裏面)
※県内の方優先

【講演Ⅰ】「病気と一緒に生きて、働く」(50分)

みえIBD会長 **今枝 新太郎さん**

【講演内容】

17歳で小腸型クローン病と診断され、32歳の現在までに3度の手術と40回を超える入院を経験されました。診断された当初は「人生オワタ」と思うほど落ち込んだそうですが、先輩患者さんとの交流を通して将来に希望を見出し、その後いろんな方々の支えがあって、今があるとのこと。

現在は、一般企業に勤務しながら、患者会「みえIBD」の会長として、SNSなどを通しての情報発信に力を入れています。IBD患者だからこそ得た経験もたくさんあり、その経験が今の自分を作っていると感じています。そんなご自身の経験をお話しいただきます。



【講演Ⅱ】「仕事と病気の両立と働き続けるために大切なこと」(50分)

株式会社 Noto カレッジ・一般社団法人 Fabrica

徳本 孝之 さん

【講演内容】

自身も、潰瘍性大腸炎を経験しながら、現在は障がいを抱える高校生から大学生などの若者の就労支援に取り組まれています。

ご自身の経験した病気のお話と、病気を抱えながらの就労準備や就職後の企業理解を得て働き続けるためのヒントをお話しいただきます。



申し込みフォーム



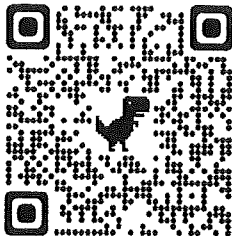
※ 講演の後、質疑応答も行う予定です。

【申し込み方法】

(定員有・先着順ですが、
県内の方優先します)

※セミナーは Zoom (ズーム) ウェビナーを使っての開催です。
スマートフォンやパソコンなどのインターネット環境で視聴できる
方とさせていただきます(通信料は各自負担)。
今回のセミナーは、インターネットで配信します。
インターネット環境の無い方は、サテライト会場(*S)にての参加も
可能です。ご相談ください。

§ 申し込みフォームからのお申し込み §



左記の QR コードを読みとるか、難病生きがいサポートセンターのホーム
ページ上にある URL より、申し込みフォームに入り、お申し込みください。

難病生きがいサポートセンター 🔍 検索 ⇒ ⇒ ふれあい教室(就労) ⇒ ⇒
申し込みフォーム

§ メールでのお申し込み §

以下のメールアドレスに、下記の内容を書いて送信してください。

件名 : ふれあい教室参加希望

本文 : 参加者氏名 : () 年代 : (代)

居住地 : (市町村のみ) 連絡先電話番号 : ()

属性 : 本人・家族・支援者 (所属と職種) ・その他

Zoom を使用するデバイス【スマートフォン (android・iPhone) ・PC・タブレット】

講演者への質問など ()

※招待メールを送るメールアドレスを変える場合はそのメールアドレスもお書きください。

§ 電話での申し込み §

下記の電話に、参加希望の旨をご連絡ください。お電話にて詳細をうかがい、参加方法の詳細を
お伝えします。

(* S) サテライト会場希望の方へ

各務原市那加福祉センター 2階学習室 に設置します。

(各務原市那加雲雀町15 名鉄各務原線「各務原市役所前」駅より 徒歩 7分)

人数に制限があるため、患者・家族の方を優先します。ご希望の方は、下記連絡先に、お電話く
ださい。

※すべての締め切り

10月29日

【問合せ先・申し込み先】 難病生きがいサポートセンター

TEL 058-273-0870(就労専用)

058-214-8733(日常相談)

(月～金 9:30～17:00)

Eメール sodan.kng@gifu.email.ne.jp (常時受信可能)